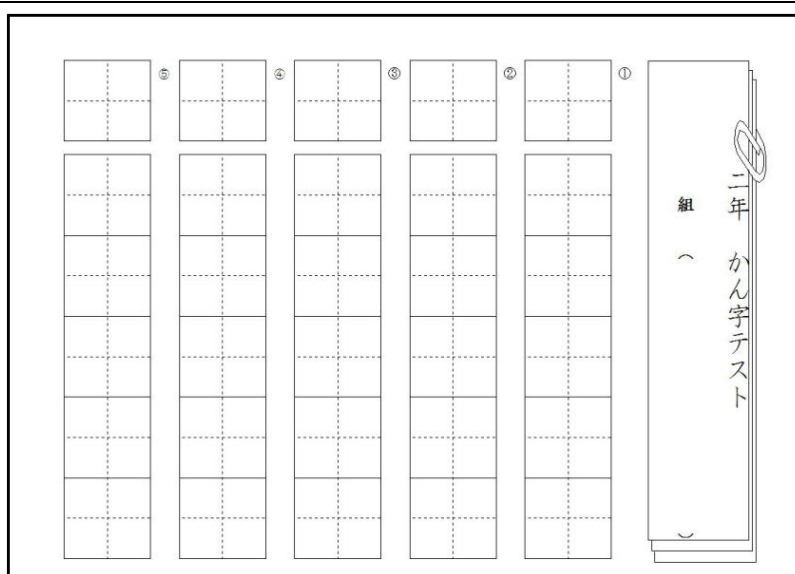


4 少しずつ確実に漢字の練習を継続させる指導について (2年)

【使用する漢字テスト(例)】



【指導の流れ】

- 1 五問漢字テストをする。
「漢字テストをします。三分間で
す。始めましょう。」
- 2 答え合わせをする。
「答え合わせをします。当たった
漢字は赤鉛筆で丸、間違えた漢
字は青鉛筆で直しましょう。」
- 3 復習をする。
「当たった漢字は、その漢字を使
って短い文を作りましょう。間
違った漢字は五回練習しましよ
う。」
- 4 テスト用紙を回収し、点検する。
「練習を終えたテスト用紙を集め
ます。」

【留意点】

- 1 問題を板書する。
出題する漢字は予め児童に知ら
せておく。学級の実態に応じて出題
数は増やしてもよい。その場合は、
解答時間を五分間としてもよい。
- 2 答えを板書する。それから、机
間指導をし、正しい答え合わせが
行われているか確認する。
- 3 間違えた漢字は、書き取り練習
をさせ、当たった漢字は、短文作
りをさせる。漢字練習は、通常の
ますを使用するが、短文の際は、
四分の一の小さなますに一字を
書かせる(二十字書くことができ
る)。漢字を書くことを習得させた
上で、文中で使うことができるよ
うにする。
- 4 回収したテスト用紙は、正しく
漢字練習ができているか、正しく
短文中で漢字が使われているか点
検する。テストの正答率が目標(例
えば八割)を下回った場合には、
もう一度行うようにする。